

第70号 2013年1月1日



福工会報

脊振山

室見川

財団法人 福岡工業工友会

玄界灘



財団法人福岡工業工友会

会長 廣津良二

(採鉱冶金 昭和四十二年卒)

公益法人制度改革に忝じて

明けましておめでとございます。新しい年を迎え、会員の皆様には、ますますご壮健にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度の公益法人制度改革にあたり、わが工友会の歴史を紐解いてみますと、明治三十四年に同窓会が発足して以来百十一年目を迎え、昭和十六年に「財団法人福陵工友会」となって七十一一年目に当たります。

平成二十五年度より「一般財団法人福岡工業工友会」として移行すべく、これまで「専門委員会」「理事会」「評議員会」等において種々の審議を重ねてまいり関連する諸規程をまとめて認可申請の手続きをいたしております。

これに伴い関係者の皆様には、大変なご苦勞をおかけいたしましたことを心より感謝を申し上げます。

さて、今日さまざまな問題や大変な

不況がつづいて国内外の情勢は予想もしなかつた変化に遭遇しているなか、新しい社会の仕組みが求められております。

特に教育面では「ものづくり」に関する価値観が見直される状況にあり、わが母校は他に先がけて社会のニーズに応じた人格の形成と技術の習得を目的とした学校改革に着手しております。今後も伝統によるノウハウを生かし、今こそ「福工魂」を發揮してほしいと願っております。

工友会といたしましては、組織の強化、財政の確立、そして工友会員のきずなの大動脈である広報活動の活性化を当面の課題として取り組んで参ります。

母校、後輩への支援強化は、卒業生への思いの象徴であります、この思いをご理解いただきますようお願い致します。まして新年のご挨拶といたします。

平成二十五年 元旦



福岡県立福岡工業高等学校

校長 高原育生

ご挨拶

新年明けましておめでとございます。工友会の皆様には、全国各地で御活躍のことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より本校への深い御理解と物心両面にわたる御支援を賜っておりますことに衷心より感謝を申し上げます。

生徒は「燃えろ福工生 目指せ日本一」[TEAM FUKKO]を合言葉に、日々充実した学校生活を送っております。卒業後の進路は、就職が約六割、進学が約四割という状況ですが、就職は、ここ数年の厳しい雇用環境にあっても、九年連続で内定率一〇〇%を達成しており、今年度も十年連続一〇〇%を目指して努力を重ねているところであります。進学では、国立大学に八名、国立高等専門学校に十五名、私立大学等に百二十二名が合格を果たしております。

また、今年度も福工の最大行事である「体育祭」を十月に実施いたしました。二日間での開催も定着し、七二〇名を越える来場者を呼ぶ盛況ぶりでした。

部活動では、水球部がインターハイ、国体で準優勝、男声合唱団が全国大会出場、マイコンカーラリーが全国制覇と大活躍を見せ、さらに、電気工学科が「光通信を利用した交通信号機」製作で、全国の技術・アイデアコンテスト二位、環境化学科が県のものづくりコンテスト化学分析部門で優勝など、先輩諸氏の福工魂を受け継ぎ、着実に成果を挙げております。今後も文武両道を目指して、いつそこの努力を重ねる所存ですので、引き続き皆様からの温かい声援をお願い申し上げます。最後に、工友会の益々のご発展と皆様の御健勝、御活躍を心より祈念いたしまして、年始めのご挨拶とさせていただきます。



私の父は国鉄の電車運転士だったので、私も国鉄へと考え、叔父の勧めで電気を学ぼうと、昭和五十一年、本校に入学。さて就職試験、国鉄は残念ながら不合格、公務員系で就職を目指すしかなかったが、不合格ばかり、かろうじて合格したのは福岡市役所のみ。昭和五十四年に電気行政職として入庁。以来、市役所の電気技術者として水処理センターの維持管理七年、地下鉄の維持管理六年、建築電気設備の設計・監督六年、下水プラント電気設備の設計・監督五年、海水淡水化施設の設計・監督二年と維持管理三年、日本下水道事業団出向三年、現在は、道路照明灯関係二年と今日までの三四年間、様々な電気設備に携わった。様々な仕事の中で、同僚あるいは工事受注者として本校の諸先輩方と仕事をしたことは数え切れない。本校は優秀な技術者を輩出するための学校、そのとおりに優秀な技術者として活躍されてい

る先輩方から数多くのことを学び、現在に至っている。今思えば、国鉄よりも市役所が私の人生としては良かったのではと思う。私は、卒業当初から電友会の年度幹事として電友会とともに歩んできた。卒業生が一堂に会する電友会総会や工友会総会、共に仕事をさせて頂いた諸先輩方との再会が楽しみである。私は生涯、福工電気科卒業生として技術者として福工電友会・工友会と歩んでいくことと思う。



十一月二十一日、大先輩の芳野さん(工化三十八年卒)から電話を頂きました。用件は、『福工会報の記事を書いてくれる人を探しているらしいので、工友会の事務局に電話して、書いてあげてね。よろしくね』こんな感じでした。東京支部の総会でお会いして以来、久しくしていただいている先輩の命令(あえて)を断れるわけがありません。ちっとも『旬の人』ではありませんが、近況の報告をさせていただきます。

東京に出てきて約三十年、会社を辞めたり、創業したり、潰したり、また会社員になったり、まるでジェットコースターに乗っている様な急変化を続けて、故郷や親や学校のことなんて考える時間もなくて、ただただ目の前の問題を処理していただく日々でした。

その日々から離別するきっかけとなったのも一本の電話でした。平成二十一年の秋頃、現東京支部の会長でいらつしやる津上さん(工化二十九卒)から、『工友会東京支部の総会があるから出ませんか』というお誘いで、いつもなら簡単にお断りするところだったのですが、大先輩からの強いお誘いだったので渋々(笑)参加しました。久々の博多弁のシャワーは、新鮮で、置き忘れたままの故郷や学校の思い出を大切にしながら、と思えた一日でした。

昨年、東京支部総会にも参加し、先輩方と楽しい時間をすごしました。

卒業以来三十二年分の
工友会費

平成二十四年の工友会東京支部総会が千代田区大手町のKKRホテル東京において十一月九日に行われた。宴酬の最中、参加者の一人が正面壇上にあがり、次ぎのよう宣言がなされるのを工友会を代表して臨席していた廣津会長が聞いた。

「卒業以来三十二年間、会費を払っていなかったのが本年分までの会費を一括して納入します」と。帰福後の会長よりこの報告を受けて、早速工友会銀行通帳の記帳を確かめると「五五デンシ、タカゾエ」として十一月十二日に一〇万円が振込が確認された。

この会費を納入された方は「旬の人」で紹介している東京都港区芝四の三田ビルに居を構え、企業向け通信統合サービスの提供を業務とする(株)インボイスの代表取締役社長の高添俊幸氏(電子科五十五年卒業)である。事務局はこの篤志を受けて五十年分の会費として記帳処理をいたしました。

叙勲受章

瑞宝双光章



電気科 昭和四十二年卒 (六十四歳)

深川 廣

深川廣氏(昭和四十二年電気卒)は、福岡市消防監として活躍され平成二十四年度秋の叙勲において、第十九回危険業務従事者叙勲のうち消防功労章として、瑞宝双光章受章の栄に浴せられました。工友会はその栄誉を称えるところにも同氏より受章にあたっての感慨を寄せられましたのでここに紹介いたします。

この度、はからずも長年にわたる危険業務従事功労による叙勲、瑞宝双光章の栄に浴することが出来ました。

例えば、昭和四十二年三月、福岡工業高校電気科卒業後すぐに福岡市消防局に就職いたしました。当時就職難で電気関係の会社入社試験では全て失敗し、消防局が八つ目、まさに七転び八

起きで合格しました。運動が好きだった私にぴったりとまわりは賛成してくれました。その後日本の高度経済成長は著しく、これに伴いあらゆる災害も比例して多発していきました。その最も最前線である救助業務(レスキュー隊)に長く携わりました。多くの人を助けましたが、何度も死が隣にいる経験もしました。

こういった災害による被害を軽減する業務に長年従事したことを評価していただいたというのを素直に喜んでおります。怪我は沢山しましたが、今まで継続して健康を保つことが出来たことが有難く受章に繋がったものと感謝しています。今後はこの栄誉に恥じることのないようまだまだ社会に報いたいと存じます。



恩師

あらためてお礼と敬意を

建築科旧職員 徳 永 行 生



長年勤務した福工建築科を退職して十二年になります。昭和四十一年の赴任ですが、当時校庭では七十周年記念図書館の工事が進行中でした。V字形

シエルのカンテイレバーが特長の建物で、設計・施工とも卒業生の担当でしたが、残念ながら今はもうありません。

在職中生徒を引率してたびたび、建物見学や現場訪問を行いました。その都度卒業生の皆様のお世話になりました。どこへ行ってもOBが第一線で活躍しておられ、福工の伝統を、心強く感じました。百年を超える伝統は日々受け継がれています。お礼と共に敬意を表させていただきます。私事ですが、退職後十年余、地元六

本松の九大跡地を「みどり」と文化の杜に」という住民運動に関わっています。報道もなされていますが、南半分は法曹関係が立地し、国道側の北半分の一部に舞鶴の少年科学文化会館が来ることは決まっています。しかし福岡市は現在ある文化ホールを作らないで科学館に特化するとしています。科学の充実に異論はないが、ホールも是非という何度目かの請願に取り組んでいるところです。



福工を愛する皆様、ますますお元気で活躍されますよう。

学校紹介

十年連続

「就職内定率100%」を目指して

近年、世界経済の減速から、わが国の雇用情勢は厳しさが増しています。大学生の就職内定率は、七割（八月一日現在）にも達せず、高校生の有効求人倍率も一倍（七月末現在）以下でした。福岡県においては、高校生の就職希望者に対して求人数は大きく下回っている状況です。

しかし、そのような中、本校には多くの企業から求人が寄せられました。求人数は、前年より約二割増え、求人倍率は三・五倍を超えています。

本校生徒は、就職試験一次応募で約八割が内定し、また、内定とならなかった生徒も二次・三次応募で次々に内定を得て、内定率は、十一月二十二日現在で九十九・五%となりました。今の状況から見て、今年度も早い時期に「就職内定率100%」が達成できるのではと期待しています。一方、進学については、これから本番を迎えますが、例年ほぼ全員の生徒が現役で希望の大学に合格しています。

「就職するもよし。進学するもよし。」本校の生徒は、社会情勢に翻弄されることなく、着実に希望の進路を実現しています。

これからも、生徒の進路実現に向けて職員一丸となって邁進いたしますので、今後共、皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます。

進路指導主事 山口 敏廣

就職内定企業一覧 (平成24年11月22日現在) (50音順)

Table with 3 columns: 会社名, 人数, 会社名, 人数, 会社名, 人数. Lists various companies and their employee counts.

進学指導について

本年度も高専編入試験や、AO入試はほぼ終わり、本格的な推薦入試の時期が近づいて来りました。多くの生徒が十一月下旬から十二月上旬に志望校を受験します。今年は長崎大学のAO入試で三名が合格し、幸先のいいスタートをきっています。

本校の進学指導で最も重要視しているのは、基礎学力の養成と、専門教科

学習の動機づけです。各大学の関係者からは、本校の卒業生を大変高く評価して頂いています。ひとつは出席率が抜群であるということです。もうひとつは専門に対する関心が高く、学年が進み実習や専門科目が増える、普通高校出身の学生達をリードしてくれるという事です。

これからの生徒達が将来活躍できる



ように、普通教科と専門学科が一致協力し、充実した進学指導を進めていきたいと考えています。

進学状況 (専門学校を除く)

Table with 2 columns: 受験先, 人数. Lists universities and their student counts.

Table with 2 columns: 受験先, 人数. Lists universities and their student counts.

Table with 2 columns: 受験先, 人数. Lists universities and their student counts.



準優勝

2012 熱戦再来

2012北信越かがやき総体(平成24年度 全国高等学校総合体育大会)
2012ぎふ清流国体(平成24年度 国民体育大会水泳競技大会 水球競技)

「日本一」に向けて 水球部主将 深川 幹徳

私たち水球部は、男子部員22名、女子部員3名の計25名で、常に「日本一」を目指し、毎日練習に励んできました。一昨年の全国高校総体では、その「日本一」を一年生ながら経験させていただき、そのときの興奮は決して忘れられないものになりました。三年生になり、高校生活最後の年にもう一度その興奮を感じたいという思いを胸に、毎日ハードな練習を積み重ねてきました。体力や技術も重要ですが、本当に辛いときや苦しい状況になったときに一番大事になってくる、精神面を必死に鍛えてきたつもりです。

今年度は、全国総合体育大会と国民体育大会の2大会とも準優勝という結果に終わりました。試合が終わった瞬間、選手全員これまで感じたことの無い悔しさで、涙を流していました。しかし、それと同時に、三年間最後までやりとげたという充実感と、今まで支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちも、強く感じることができました。

今年、私たちの代で成しえることのできなかった「日本一」を、次は後輩たちが目指し、勝ち取ってくれることと思います。本年度もたくさんの応援、ご指導をありがとうございました。そして、これからも福岡工業水球部をよろしくお祈りします

勝という結果に終わりました。試合が終わった瞬間、選手全員これまで感じたことの無い悔しさで、涙を流していました。しかし、それと同時に、三年間最後までやりとげたという充実感と、今まで支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちも、強く感じることができました。

今年、私たちの代で成しえることのできなかった「日本一」を、次は後輩たちが目指し、勝ち取ってくれることと思います。本年度もたくさんの応援、ご指導をありがとうございました。そして、これからも福岡工業水球部をよろしくお祈りします



全国大会で唯一の男声合唱を披露

全国高等学校総合文化祭
とやま2012合唱部門出場

●グリークラブ 情報工学科3年
吉村 将司(前原中)

全国大会でまず感じたことは、各校のレベルの高さです。各都道府県の代表が一堂に集うところで、どの学校の演奏も素晴らしいものでした。

しかし、私たちも筋トレやボイストレーニング等練習を積み重ねてきました。福岡県代表としての責任感を持ち、その練習を思い出し、全国大会で唯一の男声合唱を堂々と披露することができました。

全国大会で納得のいく演奏ができたのは、応援して下さった皆さんのおかげだと思います。

来年も全国大会で「福工グリー」の合唱ができるように日々練習を続けています。これからも、応援よろしくお祈りします。



福岡工業高校三連覇

高等学校工業系生徒研究発表九州大会 最優秀賞

●電気工学科3年
大隈 直樹(西福岡中)
久保川 凌(当仁中)
堀 真人(平尾中)

吉村 雄大(志摩中) 渡辺 裕太(福島県 四倉中)
私たち電気工学科光通信研究グループは、目の不自由な人が安心して道路を横断できるように、新しいタイプの交通信号機を開発しました。「信号機の光」の中に音声情報を入れ込んで、受信機のイヤホンで道路横断案内を聞きとるというシステムです。

8月に国際会議場で行われた生徒研究発表九州大会でこの信号機を開発をプレゼンテーションして、最優秀賞を受賞することができました。今後更に工夫して、よりよいものにしていこうと思います。



九州大会出場(化学分析部門)

高校生ものづくりコンテスト
福岡県大会入賞

●化学分析部門
優勝 環境化学科3年
上原 功誠(二文中)
第2位 環境化学科3年
大代 研仁(原中)

- 木材加工部門
第2位 建築科 3年 真木 涼平(長丘中)
●電子回路部門
第2位 電子工学科2年 山本 泰志(佐賀大付属中)



例年を上回る快挙

測量士補国家試験合格

●都市工学科3年
青木 清二(前原中)
居村 元気(大和中)
江藤 優太(西陵中)
白澤 弘晃(原中央中)

名称に「補」が付く通り、測量業務に従事する測量士が作製した計画に従って測量を行う資格、つまり測量士の補佐を行う技術者として認められる資格に今回4名の生徒が合格しました。



全国11名中2名が本校生徒!!

応用情報技術者試験合格

●情報工学科3年
西宮 颯(百道中)
吉村 将司(前原中)
情報工学科の3年生2名が情報処理技術者試験「応用情報技術者試験」に合格しました。

これは、経済産業省が実施する国家試験であり、「高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能」をもつ「レベル3」であることを認定するものです。今回、高校生の合格者は全国で11名のみ。うち、2名が本校生徒でした。2名同時合格は、本校の歴史始まっ

て以来のことで、全国的にも珍しいと思われます。

なお、社会人を含めた今回の合格率は22.7%で、高校生にとっては超難関でした。

基本情報技術者試験合格

●情報工学科3年 葉室 明(原中)
●情報工学科2年 藤本 涉(梅林中)

IT・簿記選手権大会入賞

●全国大会 団体の部 優秀賞 上記4名
●九州大会 団体の部 第3位 上記4名
●九州大会 個人の部 準優勝 情報工学科2年 藤本 涉



県内初全員合格！！

2級ボイラー技士試験合格

●機械工学科3年生40名

機械工学科の3年生40名が、難関の2級ボイラー技士試験で全員合格を果たしました。

日本ボイラ協会福岡支部によると、現役高校生による全員合格は県内初の快挙とのことです。

2級ボイラー技士は、工場などでボイラーの管理や点検に携わる技術者で、国の免許が必要です。

試験は構造、取り扱い、燃料・燃焼、法令の4科目で、高校生の合格率は40%前後にとどまります。

同科では全員合格を合言葉に、受験対策として、昨年10月から毎朝1時間、過去に出題された問題を解き続け、昨年12月の1回目の試験で40人のうち37人が合格。残る3人には、合格した仲間がマンツーマンで指導に当たり、今年7月の試験で全員が合格を果たしました。



平成24年度 ジュニアマイスターゴールド取得者(14名)

ジュニアマイスターとは全国工業高等学校長協会から、職業資格を多く取得するなど専門的な知識を持つと認定された者です。

これには2段階あり、シルバーの他に特に優れた生徒にはゴールドの称号が贈られています。

●工業進学コース3年

井上 悠生(長丘中) 高根 雄太(筑紫野南中)

●情報工学科3年

西宮 颯(百道中) 吉村 将司(前原中)

葉室 明(原中)

●電気工学科3年

石橋 凌(友泉中) 上野 海誠(志摩中)

江口 敬典(原中) 大野 和貴(柏原中)

織田 圭祐(春日野中) 久保 貴史(金武中)

堀 真人(平尾中) 吉村 雄大(志摩中学)

●電子工学科3年

田中研太郎(次郎丸中)



総合優勝：電気工学科



演舞優勝：染織デザイン科



バックボード優勝：染織デザイン科

第66回 体育祭 SPEED ~2日間開催12年目の体育祭~

燃える福工生 目指せ日本一

10月13日(土)と14日(日)2日間にわたって体育祭が開催されました。

各学科・コースの応援団長を中心に応援合戦、各科対抗の競技など大成功のうちに閉幕しました。

今年の来校者は延べ7,200人(保護者や地域の方、他校からの見学者・参加者)以上に上り、本校体育祭の人気の高さをうかがわせました。

クラブ活動状況

クラブ名	大会名	戦績	結果
卓球	インターハイ中部ブロック予選 決勝	東福岡 0-3	中部ブロック優勝
	// 県予選 準決勝	柳川 3-2	県第3位
	全九州新人大会 準々決勝	鎮西学院3-0	九州ベスト8
野球	国体福岡南部大会	久留米高専 1-0	2回戦敗退
	九州大会福岡南部大会(春)	筑陽 4-2	準々決勝敗退
	// (秋)	東福岡 7-0	2回戦敗退
	春季福岡市長杯	東海大五6-5	2回戦敗退
	秋季福岡市長杯	九産大九州8-0	1回戦敗退
柔道	福岡地区1年生大会	香椎 7-5	2回戦敗退
	インターハイ中部ブロック予選		男子団体3位
	県新人大会中部ブロック予選		男子団体2位
	県新人大会県予選個人戦	カ2-ノ瀬一真	60kg級2位
剣道	九州新人大会出場	カ2-ノ瀬一真	60kg級
	玉竜旗	2回戦 松山聖陵	3回戦 翔翔(宮崎) 敗退
	九州大会予選	1回戦 玄界	2回戦 筑紫台5-0 敗退
ラグビー	新人戦大会予選	1回戦 柏陵	2回戦 筑紫丘3-2 敗退
	福岡県新人大会	県大会5回戦進出	県ベスト8
ソフトテニス	九州大会予選	//	//
	全国大会予選県大会	//	//
	インターハイ中部ブロック予選準々決勝	4チームのリーグ戦	3位
弓道	県新人大会中部ブロック予選	//	3位
	// 県大会	大牟田、東福岡、八幡	3位
陸上競技	第9回ショーワカップ 1年生研修大会	トシ1奥村、キ1小園ベスト4	
山岳	インターハイ予選県大会	個人戦 男子3名、女子1名出場	
	インターハイ中部ブロック予選会	400m準決勝進出(ジョ3木下)	3位
	九州大会県予選会		4位
マイコンラリー	県新人大会		4位
	ジャパンマイコンラリー2013福岡大会 団体優勝、(個人戦)優勝シン3田中真大 2位キ2西 混平3位キ2増永圭悟		
ハンドボール	ジャパンマイコンラリー2013九州大会 団体優勝、(個人戦)優勝シン3田中真大、シン3池田悠祐、3位シン3高根雄太、3名は2013年1月13日の全国大会に出場		
	インターハイ予選福岡大会	1回戦香住丘 15-16	2回戦有明高専 40-20 敗
	国体予選福岡大会	太宰府 33-11	1回戦敗退
機械技術研究	第8回FHBAカップ	小倉工業 28-14	1回戦敗退
	福岡県高等学校溶接技術競技会	団体2位 キ3宗田大輝、江頭浩一、鹿山大樹	
バドミントン	インターハイ中部ブロック予選団体2位	個人戦トシ3西方誠二、シン3石田健祐	
	県新人大会中部ブロック予選3位		

海外研修に参加して



機械工学科工業進学コース

2年 松井 宏樹

1、ホームステイ

ホストファミリーに会うまでは、どんな人たちだろうか、言葉が伝わるだろうかなどとても不安でしたが、彼らがフレンドリーに接してくれ、話しかけやすく、楽しい時間を過ごすことができました。

2、カナダの学生と交流

カナダの学生と一緒にバンクーバー市内を観光しました。ダウンタウンでは見たことのない街並みで建物がおしゃれでした。ごみも落ちていませんでした。

スタンスレーパークは周りが海で自然に囲まれ、そこから見えるダウンタウンが絶景で



した。

キャピラノ吊橋は全長一四〇メートルで高さが七〇メートルもあるバンクーバーで最も古い吊橋で、大きく揺れて怖かったけど自然に囲まれていて空気がきれいでした。

最終日に行ったさよならパーティーでお茶をたててみました。飲んだあとの反応は微妙でしたが日本文化を知ってもらえたのでよかったです。

3、アメリカ

マリナーズのセーフコ・フィールドに行きました。イチローが試合の時に座っていたベンチや移籍の記者会見のときに座っていたところなどに座ることができて嬉しかったです。

マイクロソフト社では大きなタッチスクリーンを使ってみんなで遊んだりしました。沢山の最新機器があったので驚かされました。

アメリカで一番衝撃を受けたのはボーイング社工場です。ボーイング社は電子機器の持ち込みができなかったので、写真が撮れませんでした。工場内では沢山の飛行機が製造されていました。今まで飛行機の製造はイメージがわからなかったので実際に見学ができて

きて本当に良かったです。

(専門学校...
ジェット
エンジン)



4、感想

最初はカナダでやっていけるか不安でしたが、そこで沢山の人に出会えたので本当に充実した海外研修になりました。

建築科 2年 平野 昌季

今回は海外研修としてカナダとアメリカに行きました。工業高等学校協会が主催だったので企業視察に行った会社は全て機械でした。マイクロソフト社で、最新機器から、機械の変わり方を見て、技術の進歩を実感しました。そして、一番多かったのが飛行機関係です。飛行機関係の会社に三社も行きました。製作中の飛行機を直に見れました。カナダは夏なのに空気が乾燥していて汗をかくことがない涼しい気候で過ごしやすかったです。食物も量が多くて日本では魚のフライが一人につき一〜二尾が食卓に並びますが、カナダでは大皿に山盛り乗ってきたのでびっくりしました。朝ごはんは一週間ずっとパンケーキで幸せでした。

この海外研修で私は海外にたくさん行ける仕事につき、世界の文化に触れたいと思いました。

異国の文化で戸惑いはありましたが、日本との違いが身体で感じる事ができたのでよかったです。ホストファミリーやカナダの学生や全国の海外研修のメンバーとも知り合えて、FacebookやLINEなどで日本に帰ってきてからも連絡がとれているのでこのまま続けていけたらいいなと思います。

本当に貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



粹星会

粹星会々長 山本 秀雄

昭和四十一年 染織科卒

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、粹星会総会、工友会費納入等にご協力、ご支援有難うございました。

現在、日本は、国内外問わず厳しいなか、突破口を見出している状況です。それに比例して、人との絆、繋がり等が薄れ、人としての「心」の在り方が問題となっております。小・中学校で一九五八年（昭和三十三年）、道徳の教育課程が設けられたが、その後は、受験戦争で自己的な思想で、義務を果たせず権利ばかり主張をする好ましくない起因が増加している。やはり、あらゆる社会の成員としての道徳的判断力・態度や行動様式を身につけさせるための教育は、幼少の頃から、十代までの人格として大切なことと確信します。

我が母校も、先輩後輩の強い絆が伝統であり、道徳心です。心の絆は、他校に負けないほどの福工魂があります。時代が違っても、西日本一の工業高校の覇者として、大きな飛翔を願っています。

話は変わりますが、社団法人日本フエンスン協会会長として、二〇一二年ロンドンオリンピック大会フエンスン男子フルーレ団体、太田雄貴選

手他二名が銀メダル獲得したことは、全国からの激励、工友会会員様の応援の賜物と心から感謝しています。

次大会は、金メダル獲得です。

本年も、工友会、母校関係者、粹星会会員のご多幸とご健康を祈念致しますと共に、平成二十五年度粹星会総会当番幹事の皆様にエールを送ります。

がんばれ 日本 がんばれ 福工
(文責 粹星会役員 上田義人
昭和四十七年卒)

建友会

建友会会長 亀 清道

昭和五十一年 建築科卒

あけましておめでとうございます。日頃より建友会に、ご支援、ご協力を賜りあつく御礼を申し上げます。

私は前会長の、浜地先輩、田中先輩の下で、七年間の副会長を勤めさせて頂きました。

この度、役員会の推薦をもちまして会長職を勤めさせて頂きます。

又、役員も若い人材を採用し、諸先輩方々が長きに渡って築いてこられた伝統と教えをもとに、建友会の益々の発展に役員一同努力して行く所存でございますので、会員の皆様方のご指導、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

一昨年は、三月に東日本大震災があり、日本全体が、自然の脅威及び原子力の恐怖を感じました。その中で、建

友会総会にたくさんのご来賓及び、会員の皆様のご参加を頂き、御礼を申し上げます。

東日本大震災後、皆様方にも仕事上及び、個人的にも色々な影響を受けておられると思います。

今、私達が出来ることを精一杯がんばることが、日本の復興に進む道と

思っています。その中で、我々の後輩である、福岡工業高校の生徒たちは、明るい希望に満ち、日々勉学を精進していることを、誇りに思っています。これは、日々熱心に指導されている、校長先生をはじめ先生方のご努力の賜物だと思っております。

十月には恒例の建友会ゴルフコンペを久山カントリークラブにおいて、秋晴れのもと開催されました。今年も建友会総会は、例年通りに五月に開催いたしますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

皆様のご健勝、ご活躍を祈願いたしまして、年初のご挨拶いたします。

機友会

会長 岸原 隆一

昭和四十三年 機械科卒

新年明けましておめでとうございます。日頃より機友会運営にいろいろとご支援、ご協力頂き心より感謝申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。昨年、採鉱金属情報会同窓会の当番幹事を務めさせて頂きました昭和五十年卒生です。幹事を申し付かったのは八月半ば過ぎ、総会まで時間がなく、準備やご案内など不慣れなため、

国の政治も経済も非常に厳しい状況にあり、私共の身近な環境でも同様に製造業・建設業等で昨年度以下の悪化が予測されています。

そんな中で将来を担う我母校の生徒諸君は、元氣浚刺でがんばっております。

皆さん一度学校にぶらりと立寄りて下さい。生徒の元氣よさ礼儀正しさに驚きますよ。

毎年十月の(土)(日)二日間開催される体育祭に一度行つて観て下さい。感動すること間違い無いです。

昨年、の体育祭は父兄を含む八千人の観客で満員でした。在校生に元氣を貰いにぜひ足を運んで下さい。

親しく母校との連体感を感じてもらい、そして年一回の機友会総会に是非出席頂き、年一回の工友会費を納入頂き創立百十七年の名門校の卒業生、同窓として心のふれあいをして頂ければと強く念じます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

採鉱金属情報会

大石 昭孝

昭和五十年 金属工業科卒

新年明けましておめでとうございます。

昨年、採鉱金属情報会総会同窓会の当番幹事を務めさせて頂きました昭和五十年卒生です。幹事を申し付かったのは八月半ば過ぎ、総会まで時間がなく、準備やご案内など不慣れなため、



会長をはじめ先輩方にご迷惑をおかけしました。この場を借りましてお詫びいたします。

総会のご案内が遅れたにもかかわらず総勢百名の出席をいただき有難うございました。会場の福新楼の方にもあわてて席を増やしてもらったり、受付でも混乱したり不手際も有りましたが、宴会が始まると年に一度懐かしい人たちと会い、おいしいお酒と料理、楽しい時間はすぐに過ぎてしまいました。

最後は全員で校歌、応援歌の大合唱、今年も十月五日（第一土曜日）にまた会いましょう。参加者も多いし・酒も料理も美味しい・当番幹事も大石でした。感謝！



昨年は十月十三日土曜日に天神平和楼で第四七回の同窓総会を開催いたしました。執行役員、当番幹事、各学年幹事の皆様のおかげで、六〇名の会員、先生方が一堂に会することができ、昔話などに花を咲かせ楽しいひと時を過ごすことができました。残念ながら、

化友会

化友会会長 森 永博 隆
昭和四十四年 工業化学科卒

明けましておめでとうございます。会員の皆様の清福をお祝い申し上げます。

当年お亡くなりになられた井上先生、平片謙二君など、お会いしたくてもできない会員の方が数十人おられました。御冥福をお祈りします。今年も十月十九日十八時、天神平和楼にて同窓総会を開催する予定です。今年も開催日に合わせてゴルフコンペも考えておりますので、会員の皆様多数のご参加をお待ちしております。

我々OB会は、工友会とは別に、就職活動のアドバイザーや卒業時の記念品贈呈するなど、多くの支援活動を環境化学科の生徒たちへ行ってきております。皆様の会費はそのような費用に使われておりますので、何卒ご協力をお願いいたします。

電友会

電友会会長 安河内 琢磨
昭和四十六年 電気科卒

「電友会二六回総会を志高き卒業生が集い開催します。」

電友会の一つの理念

「日本の福工支援の会にしよう」

二つの目的

① 母校へ物心両面の支援をする

② 同窓会の活性化

あけましておめでとうございます。新年のあいさつとして電友会の現状、これからの展望、卒業生の皆様へのお

願いをさせて頂きます。

1) 電友会の現状

福岡工業高校は創立一七七年を迎え二九、〇〇〇名の卒業生を輩出し、電気科としては昭和二十三年に新設し六年を経て三、五〇〇名の電気科卒業生を輩出しております。

電友会の第一回合同同窓会を、昭和四十三年二月十八日、昭和二十五年卒の柴田姓育会長の元、学校へ四名用ロッカーを四台贈呈することからスタートしております。

今年度は、運動会の総合優勝を祝い電気科生徒一五〇名と卒業生、教職員合わせての大焼肉大会を早田電気科主任の先生と話し合い、昨年に続き第二回目を執り行い、その焼肉大会の中で生徒、先生、卒業生の親睦が図られ、卒業してからの考え方を話すことができ、卒業してからの不安を取り除くとても良い機会となりました。

2) 会の展望

私たちは、会員一同が母校のために、高原校長、早田電気科主任の先生を窓口、福工支援組織を目指し、同窓会の会員相互の親睦と協力関係を強化するために、今年度は

① 会員相互の親睦を深め、協力関係を強固にするための、第二六回電友会総会を八月第四金曜日に開催します。

② 秋の運動会の会員、学校、生徒さんとの焼肉大会を開催します。

③ 電気科ものづくり九州大会支援を推進する予定です。

3) 卒業生の皆様へのご願い

二度とない人生、志を高くもって、福岡工業電気科卒業生としての人生の原点へ立ち返り、会員相互の力を結集し、電気科支援をされることを切にお願いいたします。

上記案内については

「電友会世話人会事務局 46卒 手嶋 092-952-4186」

「代表世話人 46卒 安河内 090-3935-3521」

までお願いいたします。

土木会

土木会会長 逸 見 清 隆

昭和五十一年 土木科卒

平成二十一年都市工学科卒業の三嶋一輝君（法政大学 投手）が横浜DeNAから二位指名されました。

ご活躍を祈念します。

土木の会 会員一同



電志会

山崎 怜

平成十六年 電子科卒

新年、明けましておめでとうでございます。工友会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、二〇〇年を超える我が母校、福岡県立福岡工業高等学校、並びに我が工友会の歴史の中において、私のような若輩がこのような大きな場を筆を取るというのは甚だ場違いかとも存じますが、折角の機会でございますので、昨今の電志会、時代の流れということについて書かせていただきたく思うところがございます。

我が電志会は福工の歴史においては最も若い科であります。しかしながら、時代の流れと言うべきなのか、我らの科においても若人達が集まりにくい現状があります。

一方で、その様な最中におきましても、同年や近年の若き先輩、後輩の中には一声かけるだけで馳せ参じてくださる有志がいることもまた事実であります。

その点において我らの福工魂というものも時代の流れに左右されず、絶えず流れる力であると感じているところがございます。

人々の繋がりが希薄となり、また経済も冷え込み、激動多き世の中ではあ

りませんが、その時代のただ中であつても変わらぬ信念を持つ福工生は次の時代を作っていくのだと思うところで

最後になりましたが、我が工友会と各科会のみならずのご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。括りの挨拶とさせていただきます。末筆、失礼いたしました。

定友会

定友会会長 大 村 秀 幸

昭和四十七年 機械科卒

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

前回の「合同々総会」で申し合わせていましたとおり、昨年四月に福岡市内に於て、懐かしい恩師等の出席を仰ぎ通常の「合同々総会」を開催いたしました。会の進行は山崎氏（昭和五十一年卒）に委ね、「石飛先生の祝辞」に始まり「塔ノ上先生の乾杯の発声」で、宴の開演となった。和やかな雰囲気の中で進み、出席者からは「参加人員は今一つであるが中味が濃いひとときであった」との評価を得ました。宴の閉めは、会旗をなびかせながら全員で校歌を合唱し、次回開催は平成二十六年とすることを申し合せ閉会となりました。

最後になりましたが、「(財)福岡工業工友会」が法改正に伴い「一般財団法人」に変更することから「工友会執

行部」の配慮により同総会一科一組織にならない「定時制課程卒業生(電気科・機械科・工業技術科)」を「定友会に所屬」として加えることが過日の工友会理事會・評議員會で承認されましたことを報告致します。



東京支部

芳野 剛

昭和三十八年 工業化学科卒業の卒業生全員を対象としています。入会金・年会費等は一切かかりません。三年に一度の総会を開催出来ましたので報告いたします。平成二十四年十一月九日一八〇〇〇〜二〇〇〇千代田区大手町 KKRホテルで行いました。開催の案内状を四〇〇通超を送付し、出席三二、欠席一七〇、住所不明六〇、一昔前は一〇〇人からの出席で盛大に催された会も個人情報保護等の規制によるものか、毎回減少の一途であります。しかしながら今回も少人数ではありますが、東京支部津上会長の「絆と母校への愛」の旗の下、集



まられた先輩諸氏（昭和二十五年〜平成六年卒）のハッラツとしたエネルギーに満ちあふれたものでした。福岡よりご出席いただいた工友会会長廣津様からのお話を聞き、現役福工生の文武両道に励み、大きな成果を挙げている姿を想い、誇らしく母校や郷里への思いを大きくすることが出来ました。

今後東京支部を存続させ拡大したい希望があります。関東に住まわれている方、将来、関東進出される方々の参加をお待ちしています。他にも、有志によるゴルフコンペを企画しています。今回は、平成二十五年四月十八日西武園ゴルフで行います。参加希望の方の連絡もお待ちしております。

Nakashima.0104@poem.ocn.ne.jp

糸島支部

今年で発足二〇周年

会員の参加増える

木村博通

昭和三十四年 工業化学科卒

糸島工友会（一三〇〇名）は今年で発足二〇周年を迎えます。卒業年次・科別の垣根をこえて地域に住む卒業生の交流と親睦を目標に発展してきた組織も、今では糸島地域の有力団体として市民権を得るまでに前進しました。一度でも行事に参加した会員数は、この一〇年で二五〇名に達し会員の結集が強まっています。

多彩な活動は卒業生の交流だけでなく、まず、地域の活性化にも多くの貢献をしています。

例年開催している地域活性化講演会には、会員外の多くの一般市民が参加され、福工についての理解を深めて戴く良い機会になっています。



143名参加した津上健一氏（コ・29卒 トツキ会長）講演会

会長退任のごあいさつ

木村博通

今期をもちまして会長を退任することになりました。発足から二〇年にわたる長い間、会員の皆様に多大のご協力をいただき心から感謝申し上げます。後任の体制がまだ決まっておりませんが、五、六月頃に二〇周年記念総会が開催される予定です。今後とも次期の役員を中心に益々発展するようお願いいたします。

粕屋南部三町

合同OB会開催

粕屋南部宇美・志免・須恵の三町の福工OBが、去る十一月二十五日、志免町松活において昨年に引き続き第二回目の合同OB会を開催しました。

老いは昭和十八年卒業、若きは昭和五十年卒業の元福工健児三十一名が集い、母校の近況を聞き、また往時の母校を偲びながら交流を深めました。宴の最後には出席者全員で「弘安明治」と背振の山の「新旧校歌」、応援歌を放歌高唱し盛況裡に終わりました。

（合同OB会幹事一同 藤 英寿 記）



平成24年11月25日 松活

委員一員一會一報一告

総務委員会報告

総務委員長 昭和四十五年卒 大原 賢一

福岡工業工会会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

今年、学校創立百十七年目に相当し、財団法人としても昭和十六年六月一日「福陵工友会」として発足して以来、歴史的にも記念すべき年になるかと存じます。と言いますのも、学校創立と同じ年である明治二十九年の「民法」制定とともに始まった公益法人制度が大きく変わり、新しい法律が平成二十年十二月一日に施行されました。これを受け、我が「財団法人福岡工業工友会」は平成二十二年度評議員会において、「一般財団法人」として認可の

取得を目指すことが決議されました。

以後、「理事会」、「評議員会」等において種々審議を重ねてまいりましたが、去る平成二十四年十月二十日臨時評議員会において「法人」の中核ともいえる「定款(案)」が採択されましたことから、「一般財団法人福岡工業工友会」として認可申請を行い、現在は「認可」を待つのみとなっています。これまでに、数多くの先輩たちにより連携と受け継がれてきました会員間相互の連携、母校教育活動への支援を今後とも継続していくとともに、ひいては、このことが日本の更なる工業の振興に繋がっていくと確信を持っています。ことから、改めまして会員の皆様このれまで以上のご支援、ご協力を賜りたいと願うものであります。

財務委員会報告

財務委員長 昭和四十二年卒 木村 泰治

今年、私のやり方で、工友会をかき回して皆様にご迷惑掛けています。人生で挑戦をし、続けていくと、事業に成功。そしてホテルのオーナーになり、それから政治家を目指し、次は自分の名を残したいために、学校、建物を作るようになる。と聞いたことがあります。それがスミソナアン博物館、カーネギーホールだそうです。かつて荒江に学校が移転する時、名前を残してくれと言わずに九、八五四円を寄付して

くれた福工の大先輩たちがいらっしやいました。その偉大な先輩に敬意を払い、今日があるのは福工の御蔭と恩返し気持ちで委員会をやっていきます。近年OBの会費(寄付金)では年一回発行の会報に消え、最新の教材、機械等充実して後輩への支援、クラブ活動への助成、奨学金等には回らない状態が続いています。ある福岡の同窓会組織は不動産収入等で年四千万円を後輩の支援に使用していると聞きました。政治、経済の先が見えない中、日本の将来は工業です。出来る限りの応援をよろしく願います。

広報委員会報告

福工会報発刊にあたって

広報委員長 昭和四十三年卒 五十嵐 実

十六年前刊行された「福岡工業高校百年史」に会報に関する貴重な記録が網羅されている。その紙面に拠れば現在の「福工会報」に改称されるまでの会報の歴史を辿ると百十六年の間、実に九回の改称がありました。

工友会発足後、明治三十五年「校友会月報」に始まり、「月刊工業」「会報」そして昭和三年には一部五銭でスタートした有料広報誌「福工時報」があります。

その後は工友会年会費で賄いながらの「福陵工友会会報」「福陵工業新聞」が発刊されました。戦時中一時廃刊となりましたが再び昭和二十一年に半紙増写版両面刷りで復刊した「福陵工友会会報」、タブロイド版六頁の「福陵工業新聞」そして現在の昭和四十二年に財団名称変更と同時に題号も「福工会報」に改称されました。三年前当時の新聞誌大P4をカラーP16タブロイド版から今回のカラーP20へと変化してまいりました。

これら広報誌は約卒業生三万名のうち、所在判明者約一万五千名へ現在無償配布されております。つまり会報発刊費は現在は工友会年会費収入で賄われております。発行費用二〇〇万円の内、印刷代が半分、郵送費が半分を占め、残りの予算で会の運営を行っております。この広報誌は、これまでの先輩方が

築いてきた歴史ある工友会の歩みを支え、母校愛に目覚め工友会活動への情熱高揚と参加を促し、学校の現況を伝える手段として毎年一回発行されております。

しかしながらここに来て工友会費納入が目標を達成せず、会報発行による予算逼迫等財政上の危機を鑑みますと、果たしてこの時代に紙媒体の活字としての会報が我々卒業生に活きた媒体として、また工友同士の情報交換や絆を保つものとして機能しているのか大いに気になるところであります。この際皆様の忌憚のない、ご意見をメールかファクスにて賜ればと思います。

今の福工生は実に礼儀正しく、まさに質実剛健で自主性に富んでいます。是非この機会を捉えて体育祭・文化祭、各クラブの活躍等を実際皆さんの肌で感じて戴きたく存じます。

この愛すべき在校生達にOBである我々が会報を通じて何かを伝え、福工の歴史の重みを感じて貰い、母校福工に誇りを持ち、これから先彼らが歩む人生が、自信に溢れ、ものづくりに目覚め、人格を磨き人としての器を広げて社会に貢献する人材を結果として多数輩出することができれば工友会の目的、広報誌「福工会報」の目指す処が叶うと信じます。

今回から有志による協賛広告を多数お願いしました。この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。また、工友会からお願いで、誠に恐縮ではありますが、皆様の更なる母校愛に年二、〇〇〇円の工友会費の寄付を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

福岡工業工友会

会報の歴史

一、工業

明治四十三年より



二、校友会会報

大正五年より



三、福岡校支会会報

大正十年九月三十日
第一号より



四、福工時報

昭和三年七月一日付
第十五号より



五、福陵工友会会報

昭和八年九月二十五日
付第五十四号より



六、福陵工業新聞

昭和九年三月二十日
付第五十八号より



七、福陵工友会会報

昭和二十一年九月
二十五日付より



八、福陵工業新聞

昭和三十五年七月
二十日付より



九、福工会報

昭和四十二年六月
より



一、工業

明治四十三年に題号を「工業」と改めた。編集兼発行人は荒木 廣教諭。明治四十三年を送る、と題して「懐古すれば校友会月報を改めて「工業」と称し単に校友会々員のみに限らず、広く社会公衆に発売し幾分の裨益を与へ」と述べている。

明治四十三年六月二十日付で第三種郵便物認可を受けた。

この時代は、県下には工業学校は本校と小倉工業学校しかなく、本校は県産業界の技術センター的役割を担っていた。広報誌「工業」は会員の動静のみならず、技術情報誌としての役割も果たしていた。

二、校友会会報

大正五年題号を「校友会会報」と改める。編集兼発行人は上野壮吉先生となる。会員動静欄で新住所の記載があり、不明之部で一〇四名の消息を尋ねている。このうち染織の七名は久留米工業学校卒業生である。

三、福岡校支会会報

大正十年四月、福岡県立工業学校校友会会則が改正されて、福岡工業学校支会と小倉工業学校支会が置かれて本校会報は「福岡校支会会報」となった。

四、福工時報

昭和三年七月一日付第十五号より月刊とし、題号を「福工時報」と改題した。編集には土木建築時報主筆、藤田敏雄氏の助力を得て発行を行った。

編集兼発行人は上野壮吉先生とした。昭和六年第三十九号より高木正蔵教諭が、昭和十九年一月二十五日付第一四号より檜崎龍之介が編集にあたる。

五、福陵工友会会報

昭和八年六月三日の評議員会に於て、本会の名称が「福陵工友会」と改称されたのに従い、同年九月二十五日付第五十四号より会報題号を「福陵工友会会報」と改題した。この題号は四号で終わる。

六、福陵工業新聞

昭和九年三月二十日付第五十八号より「福陵工業新聞」と改題され、第二次世界大戦により廃刊されるまで続く。昭和十四年九月五日付第九十四号より新聞の紙質が悪くなりはじめ、戦局の影響が窺える。

昭和十五年十二月二十五日は第一〇〇号を発行した。紙質はいよいよ悪化した。昭和十九年五月一日付第一一五号で遂に一時廃刊の挨拶が掲載された。

七、福陵工友会会報

昭和二十年八月十五日の終戦に続く虚脱空白時期を過ぎ学校も再建、整理統合がこれに続いた。昭和二十一年九月二十五日付で題号

も福陵工友会会報となる。

この年は創立五十年に当り、五十年記念事業について述べている。手書きの謄写版刷りで戦後の逼迫状況が伝わる。

八、福陵工業新聞

昭和三十五年七月二十日付で、昭和二十三年以来途絶えていた福陵工業新聞が復刊第一号として発行された。この号で会費納入の勧誘をしており、そのなかで新聞発行を優先させ工友会活動の基幹となるべく訴えており、第二号より年二回の発行となる。第三号より工友会会費納入報告がされ、現在まで続いている。

昭和四十年一月母校採鉱科の学科転換について号外を出した。

九、福工会報

昭和四十二年六月、工友会名称が福岡工業工友会と改称されるに伴って会報題号も「福工会報」と改題された。編集責任者は一口孝久理事となる。昭和四十三年第十五号で、スクラップ&ビルドの進む中で、ビルドアップに従事した工友の姿を報じている。

この頃より各科同窓会だよりが報告として記載されるようになる。昭和五十四年は、前年度より会運営が逼迫し会報発行にも影響した。

以後は、発行費用、編集等の関係により年一回一月一日付の発行となる。昭和五十八年四十号より大きさが新聞紙大となる。四十二号より広告掲載が中止される。

ガスクロマトグラフを寄贈

工友会は母校教育活動助成の一環として実習設備等の充実に支援するため学校の要望に応じて必要設備機器を寄



贈している。

平成二十四年度は、一昨年の精密自動横切盤、昨年のプラズマ切断機に続いてガスクロマトグラフを寄贈した。

ガスクロマトグラフは、多成分の混合気体や揮発性の液体を分離検出して未知資料の同定・定量分析に用いられるガス分析機器である。石油化学、無機化学等の各種産業で幅広く使用されているもので、環境化学科を管理学科として設置され、今後の大いなる活用が期待される。寄贈された機器は次のとおりである。

- ジーエルサイエンス(株)製 GC3200-W
- データ処理用パソコン等含一式
- 一、九七一、九〇〇円

執行部役員と事務局員の交代について

平成二十四年四月から工友会執行部役員と事務局に変更がありました。

工友会副会長大坪俊幸氏(電気科昭和四十一年卒)の後任に木村泰治氏(電気科昭和四十二年卒)が就任され、またこれまで事務局長として工友会事務局を担当された権藤直(電子科昭和六十

年卒)先生の後任に、香月経男(機械科昭和三十六年卒)が、さらに事務局員の笠睦子さんに代わって栗野(くわ

の) 倫子さんが勤めることになりました。大坪俊幸氏、権藤直先生、笠睦子さんには、長年のお勤めご苦労さまでした。

会員訃報

【旧職員】

尾木 孝芳(顧問) H 24・3・9
 井上 輝生 H 24・6・3
 瀬戸 康政 H 24・3・6

【肄星会】

文屋 守雄(S 10) H 24・4・5
 播磨 佑二(S 29) H 24・3・4
 中村 昇(S 31) H 23・3・3
 八久保紀彦(S 40) H 23・5・3
 宮下 正敏(S 41) H 24・5・12
 真名子 彰(S 42) H 23・12・7
 山本和歌子(S 42) H 23・12・7
 百武 晴美(H 7) H 18・7

【探鉱金属情報会】

長沢 幸雄(S 29) H 24・9
 吉村 啓(S 29) H 24・9
 柴田 元義(S 29) H 24・9
 重富 隆義(S 29) H 24・9
 木村 恭行(S 29) H 24・9
 山崎 真平(S 13) H 24・9
 八波 幸一(S 39) H 24・9
 日高 邦彦(S 39) H 24・9
 比良 松敬一(S 31) H 24・9
 高木 茂男(S 31) H 24・9
 有働 清哉(S 30) H 24・9
 渡辺 和彦(S 30) H 24・9
 前田 忠彦(S 29) H 24・9
 石田 和彦(S 28) H 24・9
 阿部 秀樹(S 42) H 24・9
 石井 裕司(S 51) H 24・9
 早川 正治(S 57) H 24・9

【建友会】

久我公一郎(S 16) H 22・12
 岡部 喜幸(S 21) H 22・12
 大丸 高史(S 32) H 22・12

【化友会】

白木 公司(S 17) H 24・9
 田中 謙蔵(S 18) H 24・9
 吉富 守政(S 20) H 24・9
 大田 正好(S 22) H 24・9
 白木 利夫(S 23) H 24・9

【電友会】

山崎 繁久(S 27) H 24・9
 井上 昌之(S 33) H 24・9

【土木会】

緒方 真史(S 57) H 24・9

【探鉱金属情報会】

田口 巖(S 32) H 24・9
 谷口 忠臣(S 36) H 24・9
 阿部 秀樹(S 42) H 24・9
 石井 裕司(S 51) H 24・9
 早川 正治(S 57) H 24・9

【電友会】

吉村 啓(S 29) H 24・9
 長沢 幸雄(S 29) H 24・9

編集後記

平成二十四年度各科広報委員八名の方の御協力を感じます。表紙の写真は広報委員友納恵介氏(採鉱金属 昭和四十七年卒)の提供を賜り重ねて御礼申し上げます。

六ページのA FUTUREは、アクティブ福工の掛け声をクラブ活動学校広報誌からとりました。

広報委員の思いと致しまして、あらためて校友会活動における広報誌の役割を新たにす為、歴史を少し振り返ってみました。

一年一度、工友会会員の皆様へ紙メディアでお届けする意義を深く感じております。

本誌の感想をお待ちいたします。

工友会費納入方法について

- 福岡銀行 荒江支店
普通預金口座 1503920
財団法人 福岡工業工友会
廣津 良二(ヒロツ リョウジ)
- 西日本シティ銀行 荒江支店
普通預金口座 1544788
財団法人 福岡工業工友会
会長 廣津 良二(ヒロツ リョウジ)
- 郵便振替口座 01790-5-2415
財団法人 福岡工業工友会

- ※振り込みの際注意していただきたいこと。
- お名前(振込者)の前に、卒業科名・卒業年を必ず記入して下さい。
(例:コ・44 福工 太郎)
 - 銀行のみ振込手数料は各自でご負担ください。

発行所

財団法人 福岡工業工友会
 〒814-0021
 福岡市早良区荒江2丁目
 19番1号
 福岡県立福岡工業高校内
 電話 092(821)5831(代)
 092(831)1016(直)
 発行人 廣津 良二
 編集責任者 五十嵐 実
 題字 福沢秀利書
 (元校長)
 印刷 松古堂印刷機

頌春 がんばろう日本!

粹星会

会長 山本秀雄 (セS41卒)

私たち卒業生は福工生徒のさらなる活躍を祈念し
奨学金として寄付いたします。

金 六万円

光安 くみ子 (セS40卒)	中山 美代子 (セS42卒)
三苫 哲 (セS41卒)	谷 新治 (セS44卒)
木村 信子 (セS41卒)	上田 義人 (セS47卒)



168時間熟成 辛子明太子 匠のたれでコクがある!
(たぐ)

高級呉服 着物処

筑摩呉服店

代表 筑摩 昭夫 (昭和25 卒)

福岡市中央区天神1丁目13-27
TEL (092)721-1578(代)・(092)721-1579

株式会社 やまやコミュニケーションズ
<http://www.yamaya.com/>

(株)やまやコミュニケーションズ会長
社団法人日本フェンシング協会会長
粹星会会長

山本 秀雄 (S41 卒)

贈り物に喜ばれています!!

(有) 亀設計

亀 清道 (建築S51卒)

〒810-0014 福岡市中央区平尾 2-9-8-706
TEL (092) 533-1408

インテリア&プロダクトデザイン
fukuoka interior

川崎 泰秀
S41 卒

株式会社 福岡インテリア
〒814-0161 福岡市早良区飯倉3-27-9
TEL:092-822-1300 FAX:092-822-1366
E-mail:fu-int@khaki.plala.or.jp
URL: http://www.fukuokainterior.com



図書自動貸出機

(有) 岡久建設

岡 勝則 (建築S56卒)

〒814-0164 福岡市早良区加茂 2-42-7
TEL (092) 801-1707

(株) 隆工務店

篠田 順子 (建築S53卒)

〒812-0063 福岡市東区原田 2丁目 9-1
TEL (092) 611-3412

(株) NS 建築事務所

吉野 浩一 (建築S58卒)

〒810-0022 福岡市中央区薬院 4丁目 18-26-20
TEL (092) 522-0702

(有) 空間デザイン事務所

山崎 信博 (建築S59卒)

〒810-0063 福岡市中央区唐人町 1-2-6-503
TEL (092) 737-7675



建設・設備資材の技術商社
アダチ産業株式会社

常務取締役 岸原 隆一 (昭和43 機械科卒)
福岡支店長

福岡支店 福岡市博多区榎田 1-3-62 三菱重工福岡ビル 2階
TEL 092-482-0313(代)
FAX 092-482-0323
http://www.adachi-ind.co.jp



福岡県知事免許(9) 第6805号

株式会社 福岡住宅センター



代表取締役 五十嵐 実 (昭和43 機械科卒)

宅地建物取引主任者・マンション管理業務主任者
不動産コンサルティング技能登録 第17184号

〒810-0045 福岡市中央区草ヶ江2丁目11番1号
(城南南区大濠バス停前)
TEL 092-715-0636 FAX 092-715-0643
URL http://www.jutaku-center.com



「省エネルギー計画書の提出はお済みですか？」
省エネルギー措置届出・計画書の作成業務

グローバルエコ PALCEC

第一種・二種建造物 (IBEC登録番号: 9-17369)

代表 丸山 正利
(昭和43 機械科卒)

住所 福岡市西区周船寺 2丁目9番21号
TEL 092-806-7705 FAX 092-400-2550
E-mail:maru-22@axel.ocn.ne.jp

(社)全国運転代行協会加盟 福岡県公安委員会認定太900041号

アポロ 運転代行

090-3735-1922

安心の運転代行共済保険付!

倉成 清文 (昭和51 機械科卒)
住所 太宰府市水城 6丁目19番24号

採鉱金属情報会から会員の皆様へ(ご案内)

本会では毎年10月の第1土曜日午後6時～
天神の福新楼において恒例の総会同窓会を開催中
今すぐ10月5日のスケジュールをキープ願います。

事務局: 東郷 090-8665-3576

あんしん保険相談

医療保険・学資保険・企業保険
保険会社・多数取り扱っております

手塚 秀作 (平成7年 電子機械科卒)

手塚総合保険事務所

TEL 090-8839-6237

福岡県春日市泉3-3

TEL 092-589-4704 FAX 092-589-4708

E-mail: new.taizan22@wing.ocn.ne.jp



フレフレふっこう!

フレフレ東日本!!

フレフレ北部九州!!!



平成25年新春

採鉱金属情報会★会員一同



本社

ユニフォームなら、納入実績九州 NO.1

これからも地域密着で迅速にサポートいたします。

リクルートスーツ、各種ユニフォーム (Tシャツ・ポロシャツ) 品揃え豊富に取り扱っております。



「人」と「職場」を考える会社
CHIYODA
TOTAL UNIFORM COMPANY

ユニフォームの株式会社 **チヨダ**

S.28工科卒 代表取締役会長 野田 耕

- | | | | | |
|------------|-----------|--------------------|---------------------|--------------------------------------|
| 本 社 | 〒815-0032 | 福岡市南区塩原2丁目7番5号 | TEL(092)562-1221(代) | FAX(092)562-2511 |
| 北九州支店 | 〒802-0841 | 北九州市小倉南区北方2丁目13番3号 | TEL(093)951-1221(代) | FAX(093)921-8011 |
| 久留米支店 | 〒830-0016 | 久留米市通東町4番6号 | TEL(0942)37-1221(代) | FAX(0942)37-1222 |
| 飯塚支店 | 〒820-0068 | 飯塚市片島1丁目5番49号 | TEL(0948)21-1221(代) | FAX(0948)25-2440 |
| ユニフォームショップ | 〒815-0032 | 福岡市南区塩原2丁目7番5号 | チヨダ本社ビル1F | TEL(092)562-1226(代) FAX(092)551-2048 |

貴方にあった安心をお届けします。

MCC



東京海上日動火災・東京海上日動あんしん生命 代理店
メットライフアリコ・アフラック・西日本自動車共済

株式会社 **M.C.C**

代表取締役 **森永 博隆** (昭和44年 工化卒)

〒815-0041 福岡市南区野間1-11-36-1F
電話 (092)553-3412 FAX (092)554-1573
E-mail mcc@dream.ocn.ne.jp

一般貨物運送・運送取扱事業・倉庫業・産業廃棄物収集運搬業

宝栄運送株式会社



代表取締役社長

宮崎 孝市 (昭和42年卒)

本社 / 〒811-2124 福岡県粕屋郡宇美町若草3-2-5
☎(092)932-7777 FAX(092)933-7777
E-mail : miyazaki@houei-unsou.com
携帯 090-1872-4411
東海支店 / 〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-3-4
☎(0569)28-6466 FAX(0569)28-6470

セーブシティぼうえい



電気設備 設計・施工



原電機株式会社

代表取締役 **原 健一** (工化 S55 卒)

一級電気工事施工管理技士

〒810-0055 福岡市中央区黒門4-26-1
TEL(092)731-6232 FAX(092)724-3072
E-mail:haradenki@jcom.home.ne.jp



(株)木村電気工具店

電気設備 防災設備 設計施工・保守点検

代表取締役 **木村 泰治** (昭和42年 電気科卒)

〒816-0861 春日市岡本3丁目6番地 TEL(092)581-1815 FAX(092)581-4328

謹賀新年

電友会

S40年卒	安岡 博	S46年卒	手嶋 一壽
S41年卒	古賀 公朗	S46年卒	安河内琢磨
S42年卒	前田 誠	S54年卒	宮嶋 隆
S42年卒	木村 泰治	S43年定卒	下蘭 正博
S62年卒	小笠原豪勝	H4年卒	濱田 克巳

寄付金5万円

中高年のキャリアを活用して、企業や地域の活性化を応援しています。

NPO法人
協働システム社会づくりネットワーク

理事長 **石井 志津子**

〒811-0321 福岡市東区西戸崎2-1-30-607
TEL : 092-603-2275 Fax : 092-603-2276
e-mail : bigsue-21712@ray.ocn.ne.jp

土木工事一式

有限会社 **松 柏**

専務 **逸見 清隆**

(昭和51年 土木科卒)

〒811-2109 福岡県糟屋郡宇美町桜原1丁目9番5号
電話 **092-957-6340**
FAX **092-957-6341**



福工福岡市土木の会

会 長 川田 博見 (S46年卒)
 副 会 長 松永 次裕 (S48年卒)
 副 会 長 登 和幸 (S50年卒)
 事 務 長 首藤 俊美 (S48年卒)
 副事務長 武田 準 (S48年卒)

支 部 長	会計監事
神代 清治 (S47年卒)	重松 隆信 (H9年卒)
市川 満 (S47年卒)	木下 大地 (H10年卒)
江藤 正広 (S52年卒)	
清水 正明 (S54年卒)	監査委員
柴田 真宜 (S62年卒)	山田 城士 (S46年卒)
花本 年雄 (S63年卒)	高松 利春 (S49年卒)

総会員数 6支部 70名

謹賀新年

工友会の益々の発展と、会員皆様のご多幸をお祈りいたします。

福工土木の会

役員一同



電子科・電子工学科OB関東地区の皆さん！東京に支部があるので

電志会
東京支部

支部長 古賀 茂 (電子 昭和45年卒)

住所 神奈川県大和市下鶴間1785-3-409

TEL 046-275-8972 携帯 090-6790-9429

Mail pooh31@jcom.home.ne.jp

いつでも連絡下さい 関東地区の輪を広げましょう！！

(電志会公式アドレス fukko-denshi@nethome.ne.jp)
電志会会長 坂本俊夫 (43卒)



有限会社 セブンフーズ

仕出し・鉢盛
オードブル承ります



代表取締役 三宅 禎人

本 社 / 〒812-0063 福岡市東区原田 1丁目 3-20 TEL092(611)2985 FAX092(611)2905
営業所 / 新宮・香住丘・玄界・柏陵・太宰府・筑紫丘・福岡工業・コッペリア

文具・事務用品・OA機器全般

有限会社 三喜商事

取締役 高木 喜幸

〒813-0011	福岡市東区香椎 3丁目 28-5	☎(092)661-6156
	事務所	☎(092)843-0883
	中村学園女子中学・高等学校売店	☎(092)822-2075
営 業 所	中村学園山陽中学・高等学校売店	☎(092)891-0850
	福岡工業高等学校売店	☎(092)822-2203

竣工

工事名：福岡工業高等学校 校地整備工事
工 期：平成23年9月13日～平成24年12月20日

工事期間中のご協力、ありがとうございました。
これからも、福工生の御活躍を応援致します。



株式会社 藤原組

〒812-0053 福岡市東区箱崎6丁目11番34号
 代表取締役 藤原 定司
 TEL 092-641-8631 FAX 092-641-1225
 卒業者名 ・古森 重信(S38年卒) ・阿部 一幸(S60年卒)

株式会社 アスカスポーツ



〒812-0896
 福岡市博多区東光寺町2丁目9-41
 TEL (092) 481-7151
 FAX (092) 481-6057